

新型コロナウイルス感染防止に向けた 東宝スタジオの取り組みと皆様へのお願い

■東宝スタジオの感染防止への取り組み

○スタジオへの入所

- ・スタジオ内ではマスク常時着用をお願いいたします。マスク未着用の場合、入所をお断りいたします。
- ・メインゲートにて、サーモグラフィーによるスタッフ・キャストの別なく入所者全員に対しての体温チェックを行います。
高体温が検知された場合、電子体温計による再測定にご協力いただき、37.2℃以上の発熱が確認された方については入所をお断りいたします。 発熱、咳、呼吸困難、倦怠感などの症状がある場合など体調のすぐれない方は、どんなに軽症であってもスタジオへの入所を停止し、医療機関の受診をご検討ください。
- ・上記の措置により、メインゲートの入場方法が時間帯で変更となりますので、警備スタッフの指示に従ってください。
- ・ルームキー、当日パス、駐車券、筆記用具等は、ご使用後に消毒した上で、再利用いたします。
- ・メインゲート受付および警備スタッフは、マスクを常時着用いたします。
- ・一の橋からの入場をお断りいたします。

○注意喚起・感染予防措置

- ・主要施設のドアノブ、スイッチ類、試写室の座席等は、抗菌・抗ウイルス効果のある薬剤でコーティングしています
- ・スタジオを運営する全スタッフにマスク着用と検温を義務付け、体調不良者は出勤を停止させます。
- ・ソーシャルディスタンス（以下、SD）を意識して行動し、できる限りお客様との接触機会を減らすよう努めます。
- ・メインゲートおよび各共有施設入口に消毒液を設置いたします。施設に入る際は手指の消毒をお願いします。
- ・こまめな手洗い・うがい等を促す表示を、所内各所に掲示いたします。
- ・10時・12時・15時・17時に、居室の窓を開け換気を促す所内放送を行います。
- ・清掃スタッフが、各所ドアノブ・スイッチ等、不特定多数の方が触れる箇所の消毒作業を定期的に行います。
- ・トイレのハンドドライヤーを停止いたします。紙資源節約のため、ハンカチやハンドタオルをご持参ください。

○カフェテリア

- ・対面して着席しないよう、テーブルのレイアウトを変更いたします。また、食事時の会話はお控えください。
- ・毎朝、お客様にご使用いただく前にカフェテリアスタッフが、テーブル、座席の消毒作業を行います。
- ・食券購入やサーブ待ちで混雑する際には、SD確保のため、案内係の指示や足元の目印に従ってご整列ください。
- ・箸、スプーン、フォーク、調味料等はサーブ時にすべてセッティングした状態でお渡しいたします。
- ・サラダバー、給水給茶機はご提供を停止いたします。各自飲み物をご購入いただくか、ご持参ください。
- ・一部メニューにてテイクアウトを実施いたします。食事スペース混雑時にご利用ください。
- ・可能な限り、混雑する時間帯を避け少人数でご来店ください。
- ・予め混雑が予測される場合は、プロダクションごとに食事時間をずらすよう、お願いする場合がございます。
- ・上記の措置により、営業時間、メニュー内容、メニュー単価に変更がある場合がございます。

■東宝スタジオご利用作品の皆様へのお願い

○感染予防措置

- ・スタジオ所内では、全スタッフ・キャストは常時マスクの着用を必ず行ってください。
- ・専有してご利用いただく施設に消毒液を準備し、施設に入る全スタッフ・キャストは手指の消毒を行ってください。
- ・機材・小道具などは、こまめに消毒し、スタッフが使用する個人の用具の共有を行わないでください。
- ・スタジオ内ではSDを意識して行動し、作業は可能な限り最少人数で行ってください。

○感染防止策を講じた体制の構築

- ・プロダクションごとに「感染防止策」を書面化し、所属スタッフ・キャストへの周知徹底をお願いいたします。
- ・「感染防止策」が確実に実行できるよう、専任スタッフを常駐させ、防止策のチェック・指導をしてください。
- ・所属スタッフ・キャストへ、毎日の体調、検温結果の報告を義務付けてください。
- ・所属スタッフのスタジオ入所者を1日毎に把握してください。
- ・所属スタッフ・キャストへ、感染症状の有無や、感染者との接触の有無の報告を義務付けてください。
- ・プロダクション内や病院・保健所との連絡網を整え、感染が疑われる方が出た際に適切に行動できるようにしてください。
- ・従来の制作スケジュールに比べ、より余裕を持った準備・撮影スケジュールをご検討ください。
- ・大道具、機材等、外部協力スタッフが入所する場合も、所属スタッフ同様「感染防止策」の徹底を遵守させてください。
- ・スタジオ所外や業務時間外においても、感染のリスクが高いとされる場所や機会を避け、スタジオ内にウイルスを持ち込むことが無い様、配慮と節度ある行動を心掛けてください。

○ステージでのセット撮影

- ・ステージ内でのSD確保のため、作業・撮影は可能な限り最少人数で行ってください。（以下 ex.）
 - ステージに入ることのできる最大人数を、待機スペースを考慮した上で設定し、パートごとに人数を絞る。
 - 美術・装飾・撮影・照明・録音等パートごとにセット内作業を行い、作業していないスタッフはステージ外で待機。
 - 見学者など「撮影に必須でない人」は撮影中ステージに入らないようにする。
- ・可能な限り、キャスト同士のSDを確保できる撮影方法をご検討ください。
- ・モブシーンは極力お控えください。
- ・同録撮影中以外は、常に換気を稼働させ、すべての出入り口を開放してください。
- ・撮影前および撮影後にセット内やステージ内の消毒作業を行ってください。
- ・セット撮影時の食事はビュッフェ形式でのケータリングを控え、個別に包装された食事をご提供ください。
- ・セット脇スペース等、狭い空間での食事はお控えください。
- ・お茶場スペースの飲料水や軽食についても個別にパッケージされたものをご提供ください。

○スタッフルーム・作品倉庫・衣裳部屋・メイクルーム等での作業

- ・在室人数を最大でも「4㎡につき1人まで（プロダクションセンタースタッフルーム1部屋あたり10人まで）」を目安とし、在室人数の制限、人数の分散をご検討ください。
- ・2mを目安（最低1m）にSDを確保しつつ作業を行い、座席は向かい合わないよう配置してください。
- ・リモートワークを奨励し、打合せ・オーディション等を可能な限り、最少人数で行ってください。
- ・室内の換気扇を24時間稼働させたまにしてください。

- ・スタッフルーム入口ドアを開放したまま作業を行ってください。
- ・10時・12時・15時・17時には、窓を開け 10分間の空気の入替えを行ってください。

○ポストプロダクション

- ・施設内及び居室内でのSD確保のため、作業は可能な限り最少人数で行ってください。
- ・施設内入室人数の制限、人数の分散、対面で着席しないなど常にSDを確保した状態をご確認ください。
- ・アフレコにおいては可能な限り、キャスト間、エキストラ間のSDを十分に確保できる録音方法をご確認ください。
- ・テスト収録、本収録以外の時間は、作業室内は常に換気を稼働させ、扉を開放した状態にしてください。
- ・施設内の給茶機の利用は停止いたします。飲み物は自動販売機をご利用頂くか、各自でご持参ください。
- ・施設内での調理やケータリングを控えて頂き、出前又は個別包装されたお弁当をご提供ください。
- ・お茶場スペースで用意される飲料水、軽食についても個別にパッケージされたものをご提供ください。

○試写室のご利用について

- ・当面の間、座席間隔を空けさせて頂くため、一度の上映でのご入場を46名までとさせていただきます。
- ・入室される方の把握のため、試写会に参加される全スタッフ・キャスト・製作関係者のリストを事前に作成ください。
- ・入室される方に感染症状の有無や、感染者との接触の有無の報告を義務付けてください。
- ・入室される全スタッフ・キャスト・製作関係者はマスク着用の上、必ず手指の消毒を行ってください。
- ・ロビー内混雑を避けるため上映開始15分前集合を原則とし、到着次第、SDを確保しながらご入室ください。
- ・飲食物の持ち込みはご遠慮ください。
- ・試写室内にペーパータオル、消毒液を設置します。ご自由にご使用ください。
- ・試写室内での会話は最小限に留めていただきますようお願いいたします。
- ・上映終了後は、速やかに、SDを確保しながらご退出ください。
- ・換気並びに座席などの消毒作業のため、上映インターバルは1時間をめどに設定をお願いいたします。

■感染拡大防止のため自主的にPCR検査や抗体（抗原）検査を実施する場合

1. 各種検査を受診する前に

- ・所属スタッフ、関係者が抗体（抗原）検査やPCR検査を受診する際は、必ず事前に、検査受診の予定日・受診人数・結果判明予定日等の詳細をスタジオまでお知らせください。

2. 各種検査にて「陰性」の判定等、感染の疑いなしと診断された場合

- ・そのまま継続してスタジオ内にて作業を進めていただいて結構です。

3. 抗体（抗原）検査にて「陽性」の反応があり、感染の疑いありと診断された場合

- ・「無症状」であっても、即刻スタジオからご退所いただき、必ずPCR検査を受診してください。
- ・「無症状」であっても、PCR検査にて「陰性」の結果が出るまでの間、当該スタッフは自宅待機としてください。
- ・感染が疑われるスタッフの人数・PCR検査結果判明予定時刻、および、直近2～3日のスタジオ内での主な作業場所を個別に確認し、スタジオにご連絡ください。
- ・スタジオはいただいた情報を元に、カフェテリア等共有部及びお客様の専有部の消毒業者手配の準備を行います。

4. PCR検査にて「陽性」の反応があり、感染が確定した場合

- ・次項、「**■新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が発生した場合**」をご参照下さい。

■新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が発生した場合

1. 体調不良者が発生した場合

- ・厚生労働省から発表されている感染初期症状が現れた方が、スタジオ内で作業中の場合は、専任スタッフもしくはプロデューサー部に連絡の上、速やかに退所してください。
- ・感染初期症状が現れた方は、新型コロナ受診相談窓口、またはかかりつけ医にご相談ください。
- ・発熱等の症状がでた後に、医療機関等によりPCR検査「不要」と診断され、自宅で療養することとなった方は、毎日健康状態を専任スタッフもしくはプロデューサー部に連絡した上で、医師の復職許可がでるまでは撮影や作業に参加させないでください。
- ・専任スタッフもしくはプロデューサー部は、体調不良者の発生とその後の経過について、スタジオと情報共有を必ず行ってください。

2. PCR検査にて「陽性」の反応があり、感染が確定した場合

- ・当該スタッフの症状の有無に拘わらず、作品のすべての作業を即座に中断し、スタッフ全員自宅待機としてください。
- ・保健所より濃厚接触者の選定を受けたスタッフ・キャストは、保健所の指示に従って行動してください。
- ・濃厚接触者以外の感染者と接触があったスタッフについても、自主的なPCR検査受診をご検討下さい。
- ・保健所の指導を元（もしくは自主的に）施設の閉鎖および消毒作業を行います。施設をご利用中の方は一時的な退室など、スタジオの指示に従って行動してください。また、消毒費用についてはご負担をお願いいたします。
- ・当該施設の消毒が終了し、保健所より作業再開の認可がおりましたら、濃厚接触者以外のスタッフはスタジオとスタジオ内での作業に復帰していただいて結構です。
- ・二次感染者の発生等、クラスターが発生した場合はスタジオ閉鎖の可能性がございます。撮影中止もご検討ください。
- ・スタジオ従業員、他プロダクション等、スタジオ内より感染者や濃厚接触者が発生した場合は、スタジオをご利用中の皆様にお知らせいたしますので、スタジオの指示に従って行動してください。

■「緊急事態宣言」が発令された場合

緊急事態宣言が発令された場合や、行政からの自粛要請があった場合、スタジオの営業を休止とすることもありますので、あらかじめご了承ください。

※ご不明な点やご要望等は、各担当者までお問い合わせください。
ご理解、ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

以上

2021年8月1日 改訂